

KSKP**Threshold**

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ ニューズレター Vol.43

～すれっしょんど～(出発点)

神戸薬物・アルコール依存リハビリテーションセンター

スレッシュョルドとは、新たな出発点、飛び立つ場所という意味です



できっこないをやらなくちゃ

暑くなってくるとアディクトの生態系も冬とはガラッと変わります。

なかなかおもしろいもので、この生態系をダルクでは崩していきます。使っていた頃の夏の行動、使っていた頃の冬の行動とダルクでの行動はずいぶん違います。なので最初はみんな戸惑いながら、文句を言い出します。その文句の対応をして頑張っているスタッフを見ていると熱血だった頃の自分を思い出します。

基本的に仲間と過ごしたくない自分がいました。というのも実は気を使いすぎて疲れてしまうのです。悪態をつくにも、いい子ちゃんでもいい人になるにも、どちらにしても演じている自分がいつもいました。そんな時に、気持ちを全部吹き飛ばすために使う薬は万能薬でした。たった一瞬なんですけどね。解決はしてくれないけど、「もういいかげんにしてくれ！」って叫びたい気持ちも吹き飛ばしてくれました。

ダルクに繋がった時は、何もしたくなかったし、何もできないと思っていました。楽しいことなんてもうこの世にはないと思っていましたが、そんな気持ちも隠していました。そりゃあ、ダルクに繋がっても使いたくなりますよね。本当の自分ってなんなんだろう？ってのも数年かけて仲間の姿が僕に教えてくれました。

できないと思っていたことがだんだんできるようになりました。薬でスーパーマンになってもできなかったことができるようになりました。今でもできないことたくさんあります。こわいんです。だけど、そんな時に限って、仲間が失敗してくれたり、頑張る姿を見せてくれたり、僕より強そうな仲間から電話で僕に助けを求めてくれるんです。これが偉大な力じゃないって言ったら何が偉大な力なのでしょう。

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ 代表理事 梅田靖規

自立訓練(生活訓練)神戸市障害福祉サービス事業所 デイセンター リカバリー

〒653-0041 兵庫県神戸市長田区久保町 7-7-18 ←郵便物はこちらへ

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741 e-mail kobe.darc@gmail.com

西宮ファミリーカウンセリングオフィス

〒663-8177 兵庫県西宮市甲子園七番町 9-18 H2O 甲子園 303 TEL 078-600-9525

共同生活援助(グループホーム) リカバリーホーム TEL078-647-7744 (神戸市須磨区)

リカバリーホーム 2&3 TEL078-764-6988(神戸市垂水区)

SPEAK EASY(タコス&お弁当販売) 神戸市長田区久保町 3-6-9 1F TEL 078-584-3902

指定就労継続支援 B 型(10 月より)事業所 ぱくやーど 神戸市長田区久保町 3-6-9

姫路アディクションサポートセンター 〒670-0832 兵庫県姫路市双葉町 96 Tel 079-255-5033

智頭リトリートヴィレッジ 〒689-1411 鳥取県八頭郡智頭町八河谷杉の木ランド テニスコート下

www.kobedarc.org

神戸ダルク

検索

神戸ダルクとヨーガ療法

ヨーガ療法士 林谷みどり(おみど)

みなさま、こんにちは。

みなさまと一緒にヨーガ療法を実習させてもらっています「おみど」と申します。

神戸ダルクさんでのヨーガ療法の実習を初めて、早7年になります。

途中は、コロナに見舞われ、オンラインでのヨーガ療法実習もさせていただいたこともありましたが、神戸ダルクさんは、関西という土地柄もあってか、はたまたメンバーのキャラクターのおかげか、オンライン時も対面でも、みなさんとヨーガ療法実習させてもらう時間はいつもアットホームで、ユーモアと笑いが絶えない癒しの場になっています。そして、メンバーのみなさんの集中力も良く、ハイヤーパワーとの繋がりも強く感じることができる時間になっています。

話は変わりますが、「ヨーガ」の言葉の意味をご存じですか？答えは「つなぐ」という意味です。「自分」と「ハイヤーパワー(ヨーガでは真我、アートマンと呼ぶ)」を「繋ぐ」という意味になります。

またヨーガには、ハイヤーパワーと繋がって、自分の持てる能力を最大限に発揮し、ストレスfulなこの世の中を力強く生き抜くための各種技法があります。(アーサナ、プラーナヤーマ、メディテーションなど)

一般的にヨーガというと難しいポーズを取るフィジカル・エクササイズのイメージがあるのですが、意外かもしれませんが、ヨーガ療法はサイコセラピーにもなっています。また過酷でストレスfulなヒマラヤで修行されてきたヨーガの行者さん達が引き継いで来られたものですので、自ずとトラウマケアの技法にもなっています。

実際の実習では、みなさんと一緒に実習する時間もありますが、体調や、患っている病気もそれぞれ違いますので、実習前に、体調アンケートをお配りし、困りごと、要望などをお伺いして、体調に合わせた個別メニューもお渡ししています。

ですが、しんどい時は休んで OK、会話だけ参加も OK なゆるい感じで行っています。

でもなぜか最初の数か月は起き上がることもできなかった方も、ご自身のタイミングが来ると自然と笑顔が出てきて実習に参加できる時が来るから不思議です。

そして毎回、みなさん真剣なまなざしで実習され、メモを取られたり、鋭い質問も沢山頂きます。(ボケ、ツッコミも！)。

ヨーガの観点からすると、人間みんなアディクトですが、また同時に、どんな人の内側にも潜在的に神性を秘めている、ハイヤーパワーが宿っているという構造論と機能論も持っています。どんな人の能力も、神性も引き出せる技法だからこそ、最初はしんどくても、起き上がって来られて、ヨーガが大好きになる方も多い理由なんじゃないかなあとと思っています。

最後に、ヨーガの行者さんは、「ストレス大好き人間」だということをご紹介したいと思います。PTG(ポスト・トラウマティック・グロース)という言葉がありますが、ヨーガの行者さんは人生に問題があったからダメなのではなく、問題があればあるほどワクワクして成長してしまうというメンタリティを持っています。私たちもみなさまと一緒に、ストレス大好き人間になってアディクト脱却し、独存位(ストレスフリーになること)の境地を目指せればと思っています。

こうしたヨーガ療法実習の機会を頂き、神戸ダルクの代表さんをはじめ、代表のご家族の皆様、スタッフのみなさま、メンバーのみなさま、関係者のみなさまに感謝致します。

これからもどうぞよろしくお願い致します。



姫路集中ワーク合宿

ナオ

施設長を初め 6 名の仲間達と共に 3 泊 4 日でワーク合宿に行きました。どんな感じになるかな? そう思いつつ 4 日分の食材を買い出してくれた施設長。そこから皆んなで食材を冷蔵庫に入れて荷物を置いてベッドの配置を決めて皆んなで食事に向かいました。

初めの感覚はディとナイトが一緒に、以前のダルクみたいで楽しいと言うイメージ! 皆んなで銭湯に行ったり、ご飯を交代で作ったり、DVD を見たり、全てが家庭的で心がほんわか暖かく凄く元気になりました。

4 日間のワーク、私はダルクに繋がりに 18 年経ちますが、知らない事だらけ忘れてる事だらけでした。一人一人の役割りの大切さ、チームワーク、ダルクの在り方、NA の在り方、自分と向き合う事の大切さやしんどさ。一人一人の役割りが人の役に立ててると言う自尊心を保つ為の最大限の役割。自分の為にしてる役割りが人の為となり、人の為にしてる事が自身の回復に繋がると言う原理。一番大切なのはミーティング。NA でどうやって自分と向き合うのか。そんな事がギュッと詰め込まれたワークをして貰いました。

私は今とても苦しい現状に居ます。そんな中で自分のプログラムは出来てるのかな? そこに辿り着きました…。人のサポートは出来るけれど、自分の負の感情や現実を認める事がまだ出来ない。でも結局は受け入れる事しか出来ない、プログラムを使うしか無い。先日息子にお母さんが生きててくれて良かったよ、そんな風に言って貰えました。プログラムを通して生きて行く事は頑張らなきゃ行けない、そう想いました。

4 日間を通して、生きてて良かった、私はワークの中で涙を流しながらそう言いました。心から生きてて良かったと思えるワーク合宿でした。



仲間の体験談

みの

初めまして、アルコール依存症の「みの」です。私は 3 月 18 日に神戸刑務所を満期出所し、神戸ダルクに繋がりました。私は中学校の頃から酒を飲み始め、高校生になる頃には立派なアル中になっていました。私の父もアル中です。私は沖縄の名護出身で、沖縄の酒と言えば泡盛です。私も泡盛が大好きで、一升を空けたことはザラです。私は酒を飲んでではケンカをし、数回刑務所に入りましたが、もう懲役はこりごりなので、これからもソーバーを続けたいと思っています。

先日梅田代表と仲間 6 人と釣りに行きました。地元沖縄の海でも、毎日のように釣りを楽しんでいました。よし大物を釣り上げるぞと意気込んでみたものの、ボウズで、梅田代表が 6 匹釣り上げました。そして沖縄の海を思い出しました。

しかし須磨の海より沖縄の海のほうが遥かに透明度は高く、きれいです。いつか神戸ダルクを卒業する日が来たら、沖縄の夕陽を見に帰りたと思います。ダルクの仲間達にはよくしていただき、感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございます。



桜

ブラック

桜を見ても、きれいと感じない。音楽を聞いても、何も感じない。好きな映画を見てもいつの間にか。何も感じなくなっていた。

姫路城に花見をしに行くと言われたとき、正直わざわざなぜ姫路まで行くのだろう、嫌いな人混み、酒も飲めない花見など、アルコール依存症の私としては、ただただ、わずらわしく感じていた。

そんなことをして、本当にアルコール依存症の回復につながるのか、花見に行けば、宴会をしている人がいっぱいいる。逆に「酒を飲みたくなる」人混みが嫌いな私は、イライラだっただけ。頭の中は花見に対してすべてネガティブに考えることしかできなくなっていた。



ダルクに繋がる前、私は何もかもいやだと思い、いっそ山の中で死のうと福井に山籠もりしたことがあった。ちょうど桜の一番きれいな時で川のあぜ道は桜が満開、どうせ死ぬなら最後、好きな酒をいっぱい飲んで死のう、ウイスキーを三本持って山にこもった。二週間山の中で過ごし、ウイスキーもなくなり、食べる物も底をつき、最後に残ったのはサラミー一本だけだった。山の中には湧き水があり、サラミを少しずつ食べながら、二週間ぐらい山の中にいた。

「やっぱり死ぬのをやめる」フラフラになりながらも山を降り、川辺に咲いている桜を見ても何も思わなかった。「酒を飲んで死ぬなら、そんな幸せなことはない」そうは言ってみても、人間やっぱり死ぬのが怖いのが本音。

あれから一年、とりあえず酒を飲まないで生きている。仲間の作ってくれた弁当を食べながら、姫路城をバックに咲く桜を見ながら「あ、きれい」とふと感じたとき、同時に「あ、何か、やっぱり生きていてよかった」と思った。酒がなくても、少しずつ楽しめるようになったんだなと実感した。同じ桜を見ているのに。少し何かが変わってきたと思えるようになってきた。



たけのこ掘り

たか

繋がって2年6ヶ月になります。希望者が3泊4日で姫路に梅田代表のワークに行き、残りのメンバーはMTの予定でしたが3日前にたけのこ掘りの話が来て次の日に予約が出来たので5/3はたけのこ掘りに行くことになりました。ちょっと出かけていた仲間が帰ってきたり、調子を崩していた仲間が残ったりと様々なことがありましたが、姫路行きのメンバーを見送って自分たちもコンビニで昼食を買って集合場所に向かいました。

集合場所に着くと「石井橋」と交差点に書いてあり、どっかで見たような名称だなと思いました。寮から直接畑プログラムで畑に行くときに通る道中でした。近くに平野商店街がありますが、最近廃校の跡地再利用で水族館が出来ているみたいです。長田のエイサープログラムで利用している二葉学舎みたいな感じです。

集合場所で待っていると付近にそれらしき人達がいましたが集合時間に集まると30人位はいたと思います。こんなに来るんやなと思いました。ガイドに案内され川沿いの道を登っていくとめっちゃくちゃ陰しい坂になって登山になっているやんと思いました。しんどいしんどいと言いつつも現地に到着して休憩した後、皆でたけのこ掘りが始まりました。

自分も人生で初の経験で、とりあえずたけのこを地面で探しましたが、見渡しても全然なくてボウズか？と思いました。斜面を見ていくと見つけることが出来ました。道具も貸してくれるということだったので借りました。たけのこの周りを掘って行きますが中々掘り進まず、他の根っこかかあつてめっちゃ掘りにくいし面倒臭かったです。掘り出しました。

子供連れの人達がたくさんいてたけのこがないないと探し回っていました。自分がたけのこを掘ることで子供たちの夢を奪っているのか？と思いながらも2本目も見つけました。(笑)自分は地上に出ているのを見て探しますが、うまい人はこういう所に生えているというのを知っていて、見えていない所を掘り出していくので凄いと思いました。

昼食をとって、現地にはトムソーヤの冒険に出てきそうな小屋があったのでそこで少し昼寝しました。いつものパターンだとこのまま寝て終了とかいうことにならないかと心配しましたが昼からも皆で少したけのこを探して後片付けと掃除をしました。

参加者の中には中学生位のボランティアの子が先生と6人位で来ていて今の自分の状況と比べると何か情けないような気もしましたが、人と比べて一喜一憂しても仕方ないし、過去の自分と比べて今の自分がどうなのかと思えば今日だけ続けている自分を褒めてあげればいいのかと思いました。

来るまではいい年してたけのこ掘り？と思いました。そんなしょうもないことより薬やるわという生き方よりも薬やらなくてもしょうもないようなことでも楽しみを見つけていけるような生き方が出来るように自分を変えていけたらと思います。

結局たけのこは全部で7本とれてたけのこご飯にして皆でおいしく頂きました。今日だけに感謝です。ありがとうございました。



釣り

ゆい

私は2月7日に神戸刑務所を仮釈放で出所し、神戸ダルクに繋がった、トランスジェンダーのゆいです。私は覚醒剤依存症で、七回逮捕され六回刑務所に入りましたが、101日クリーンを続けています。

さて先日梅田代表と仲間6人と釣りに行きました。私は船酔いをする体質で、地元福岡でショーパブのお客さんの所有するクルーザーで玄海灘へ行きましたがしんどくて、それがトラウマで正直乗り気しませんでした。代表が酔い止めを買ってくれ、朝それを服用し、海へ出発しました。

最初は船が揺れ、怖かったです。徐々には船がスピードを上げていくと次第に爽快な気分になり、テンションが上がりました。私は小学生の頃、父と一緒に川や池でフナやライギョ、ナマズを釣った経験はありますが、海釣りは初めてで、何をどうすればいいのかわからず。仲間に教えてもらいながら、仕掛けにオキアミを入れ、アジ釣りに挑戦しましたが、結果はゼロ。一匹も釣れませんでした。梅田代表はタイなど六匹も釣り上げ、そのタイを触りましたが、ヌメヌメして臭く、慌てて海で手を洗いました。



釣りをする前、梅田代表の操縦する船で、ポートタワーを巡り、遥か遠くにあべのハルカスが見え、逮捕前はあの近くに住んでいたんだなあと感慨深い思いに浸りました。そして、海を眺めていると「もう覚醒剤なんかいらないな」と思えてきて、仲間 2 人も同じことを言っていました。

私は今まで、刑務所を満期出所すると、大阪の密売人が多くいる地域へ直行し、すぐに覚醒剤を購入し、すぐに使って、刑務所と娑婆の行ったり来たりで、今となっては何て馬鹿な事をしたんだろうと後悔しています。

私は多分一生覚醒剤はしないと思いますが、薬物依存は一生治らない病気です。もし虫が湧いたら、このときの海のことを思い出したいと思います。将来、神戸ダルクを卒業したら、地元福岡に帰るつもりですが、須磨の海が恋しくなったら、玄海灘の海を見に行こうと思います。すごくいい思い出を、梅田代表と仲間達にいただくことが出来ました。そして、とても素晴らしい「Voyage」＝航海でした。それではこの辺で失礼致します。ありがとうございました。

体験談

ユッキー

薬物を使い始め 25 年位、その 25 年をこの原稿に納めるのは難しいので、私が逮捕されて今日までの体験談とさせていただきます。まず、ダルク入所して 2 ヶ月ちょっとが経ちました。

私が逮捕されてダルクに入所するまで何を考え、今後、自分自身どのように薬物との問題と向き合っていくか、薬物を止めていくのかを見つめ直す為に日々奮闘しています。

これまで私は二度、覚醒剤で逮捕されていて、今回で三度目の逮捕となりました。

なぜ、薬物を繰り返すのかと自問自答したときに私の頭の中をよぎったのは薬物依存症という言葉です。

逮捕されるまでたまに薬をやる程度で、いつでも止められる、自分はシャブ中ではないと勝手に思い込み、その矢先に逮捕されてしまい、これまで頑張って積み上げてきたものが一瞬にして崩れてしまいました。

そこにどんな理由があったにしても、自暴自棄になって薬物に快楽の救いを求めて一時的な現実逃避をするという方法は決して社会では許されることはありませんし、快楽に身を投じれば心身を害するだけではなく、自身の信用はもちろんのこと資産をも失うことになります。

また、ふと冷静になったときには駄目な自分を責めてしまい余計に心が傷ついてしまうという悪循環に陥り、薬物依存症という病が人生や家庭を崩壊させてしまうというのを身をもって経験しているはずなのに、再び薬物に手を出してしまう。本当に薬物依存症は怖い病気だと身をもって感じています。

そして、薬物をやっているときの私はというと自暴自棄になり短絡的に快楽に溺れたり自身の身体と心を傷つけたりして決して心が癒されることはありませんでした。やはり、思い返してみても薬物をするによって自身の大切な人を悲しませたり。苦しませることにもつながるので、自分をごまかす人生とサヨナラする為にも、との思いでダルクに入所しました。

まだ入所して 2 ヶ月ちょっとで正直プログラムなど意味が分からないことが多々ありますが 1 つだけははっきり言えることは、今現在薬物が止まっているということです。そんな意味でも自分の選択は間違っていなかったと声を大にして言えます。

そして、いつか「いつの間にか薬が止まっている」と言える生活を手に入れたいです。

活動報告

4 月

姫路城お花見フェローシップ
NA 海外スピーカーイベント参加
神戸保護観察所来訪

5 月

加古川学園メッセージ&家族教室
GW 集中合宿 in 姫路開催
たけのこ掘りボランティア
加古川学園カウンセリング&ミーティング
高松刑務所薬物離脱指導教育参加
ボート釣りフェローシップ
キューピー神戸工場見学
播磨社会復帰促進センターメッセージ
ライオンズ交流会参加

定期開催

姫路家族教室 毎月第2土曜日
神戸ダルク家族会 毎月第4日曜日
姫路無料家族相談 毎月第1火曜日
尼崎無料家族相談 毎月第1水曜日
垂水病院すまーぷ参加 毎週金曜日
垂水病院ダルクメッセージ毎月第3火曜日
保護観察所すまーぷ 毎月第4金曜日
ヨーガプログラム 毎月1回
子ども食堂開催毎月2回
TIC 学習会毎月1回



前々回のニュースレターで、仲間が事故をしてしまい、金額から廃車になるくらいでしたが、車屋さんの配慮で中古部品を使ってなんとか治って戻ってきました。幾らかの方々のご献金のおかげと、これまで献金していただいた部分を使わせていただきました。皆様の献金 56 万円で、車が治りました。本当にありがとうございます。事故のないように大切に乗ります。

近況報告・活動予定

あーいそがしいそがし。あーこまたこまた。
今年は予定たっぷりなのですが、仲間たちやスタッフも、とてもいい感じで「神戸ダルクらしさ」が発揮されています。スタッフとしても、ワクワクする季節になってきました。次のニュースレターでは、今年の具体的な計画もお伝えできそうですし、フォーラムなども続いているので仲間が多く仲間と出会うことの素晴らしさを味わえるかと思うと NA フリークの私は興奮するばかりです。

それに加えて今年の夏は NA の全国大会が名古屋で 5 年ぶりに行われるので仲間たちに回復の超特急に乗れる喜びを味わってもらいたいです。コロナが終わりかけていた頃に、私が魁にならねばと思い、エジプトのヨーロッパ大会に参加し会場にたどり着いた時の感動を思い出します。今年の神戸ダルクは嫉妬されるくらい楽しく行きます！

神戸ダルク ヴィレッジ広報誌「Threshold」 年間購読のお願い

この広報誌「スレッション」の年間購読のお願いです。障害者低料第三種郵便物の取得が遅れており、皆様をお待たせしてしまいましたが、漸く第三種郵便物の取得ができました。年間購読費は年 6 回発行で 2000 円になります。お申し込みは FAX、電話、メール、または同封の振込用紙にてお願いいたします。お申し込みの際は「住所・氏名・電話番号」を必ず明記ください。

※ 配布用に、当ニューズレターを置いていただける場合はご連絡ください。たくさんの方に読んでいただけるように希望数を郵送いたします。私自身もこのような広報資料を見つけたことがきっかけで回復の場所を見つけることができました。ぜひ、まだ苦しむ依存症者の助けとなるようにご協力ください。

支援会員のお願い

神戸ダルク ヴィレッジでは、支援会員として、活動を支えてくれる方を募集しています。

兵庫県の薬物依存症者を助ける活動をご支援ください。

個人会員は 1 口 3000 円（ニューズレター定期購読料を含む）からになります。刑務所内の方々との文通による支援のための切手代などに使わせていただきます。

ご連絡をお待ちしています。

領収書希望の方は一言ご記載ください

神戸ダルク ヴィレッジ

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741

e-mail: kobe.darc@gmail.com

電話相談 来所による面談 メール相談

相談の内容に関しての秘密は厳守します

逮捕・勾留中の方々への支援

刑務所・拘置所・留置所への面会、手紙などによる逮捕者及び保釈中の方への裁判での情状証人出廷や、刑務所出所者への薬物からの回復を希望する方の引受人としての指導対応や、出所前面談など、他機関と連携しながら対応しています。また、資料請求などもご連絡いただければ対応いたします。

★月曜～金曜 10:00～17:00

メールは 24 時間 OK。

神戸ダルクへのご献金・献品のご支援本当にありがとうございました。

開設から今日までをたくさんの方々に支えられてきたおかげで、仲間一同、回復のプログラムに取り組むことができています。心より感謝いたします。これからも暖かく見守ってください。

ご献品

生田 茂美 様 大口 篤 様 林谷 みどり 様

ご献金

生田 茂美 様 新名 宏敏 様 千葉菜の花家族会 富井 建夫 様 正岡 康子 様 神戸メンタルサービス合資会社 様
カトリック仁豊野教会 様 明石キリストの教会 様 横田 尤孝 様 衆議院議員 櫻井 周 様 間 明子 様
神戸女学院大学 金田 知子 様 杉野 美佐子 様 他匿名希望 1 名

(令和 6 年 2 月 16 日～令和 6 年 5 月 27 日到着分・順不同 ※購読料・支援会員費の方を含む)

寄付や献品のお願い

引き続き、非常に苦しい状況の中、お米などのご支援ありがとうございます。昨年度はお米の寄付をたくさんいただいて、なんとかみんな空腹で苦しむことなく、お腹いっぱいご飯を食べることができました。また、ご家庭で余っている食料品(米、野菜、乾物、味噌、醤油など)から洗濯洗剤やシャンプー、石鹸、などの日用品などがございましたら、神戸ダルクまでご献品ください。たくさんありましたら、車で取りにいくこともできます。洗剤などもたくさんいただいたので非常に助かっています。今非常に助かるのは、食材や日用品です。コロナの影響で外出が少ないため、ストレス発散には、どうしても食事が進んでいきます。心苦しいですが、ご協力をよろしくお願いいたします。また、ボランティア活動も気軽にお声掛けください。私たちは体力だけではありませんので、荷物運搬など気軽にお声掛けください。日々の感謝をそのようなことで返したいと思っています。

ご寄付振込先口座 ゆうちょ銀行

口座番号 00950-9-275937

口座名 シヤ) コウベダルクヴィレッジ

店番 〇九九 0275937

献品の送り先住所 653-0041 神戸市長田区久保町 7-7-18

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ

編集後記

掃除をしていたら、亡くなった近藤さんの DVD が出てきたので、すぐに車にセットして観ていました。「俺が一番救われたのかもしれないなあ」という言葉が自分にもみょうにじっくりきて、そんな時はこれまで出会った人が頭の中に出てきます。ダルクを飛び出して苦しくなった時もそうでした。いつもその時は感じなくても、愛されてると思えたことはちゃんと覚えているんですね。ダルク以外の人からの愛は「全部偽善」と思っていました。でも今は普通の人の気持ちも受け止められるようになったんですね。

神戸ダルク ニュースレター Threshold (出発点) Vol.43

編集人 一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ 梅田靖規

印刷 プリントバック

〒653-0041 兵庫県神戸市長田区久保町 7-7-18

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741

e-mail kobe.darc@gmail.com

www.kobedarc.org

価格 1 部 100 円 年会費 3000 円

(購読料は年会費に入ります)

発行人 関西障害者定期刊行物協会

〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4 階